



「鄭義下碑」の倣書で書いています。各文字は空間を包むように大回りに運筆し、点画にはまるみを持たせています(円勢)。字形は、やや重心を低く構えます。

ばんごうせいてい
萬古世程と為る
後世長く人々の法式となり
模範となる

(王惲)

4、5画目の高さそろえる

左へ長くのびす